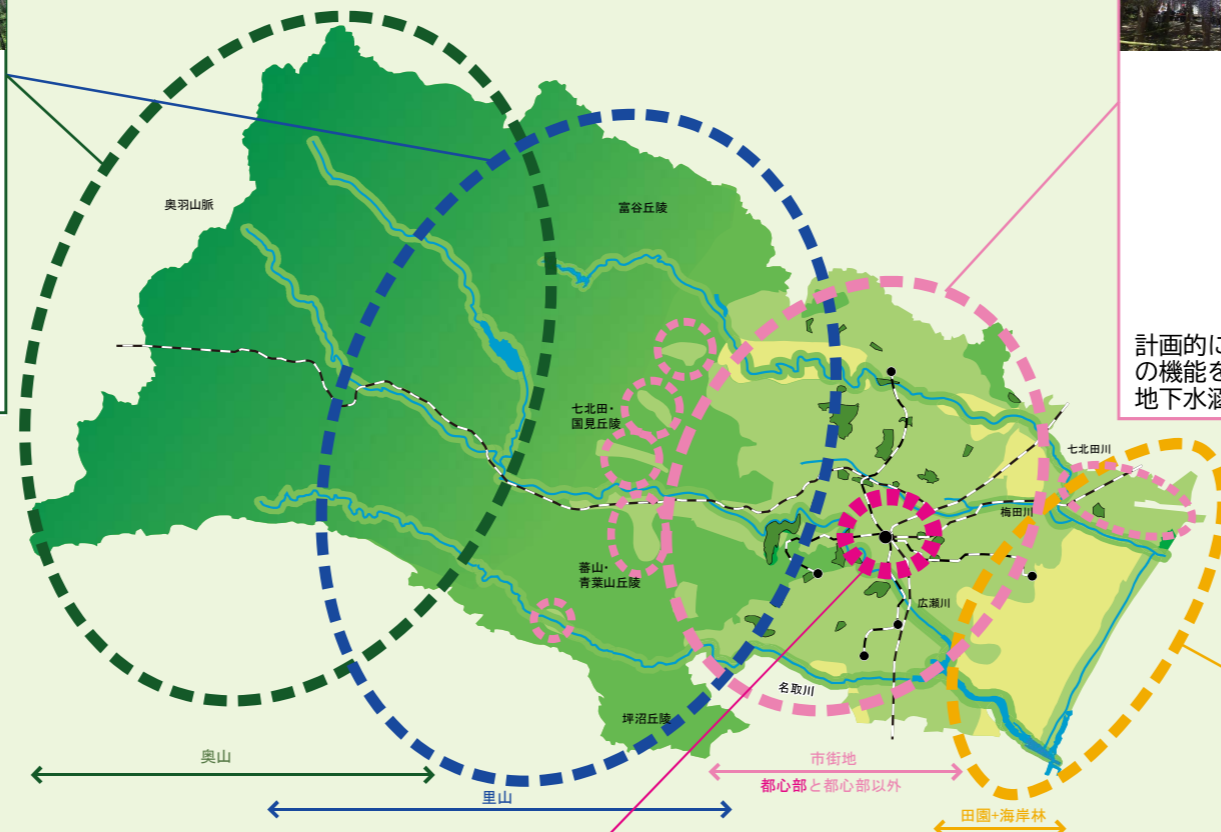


杜の都のグリーンインフラ

仙台は、森・里・川・海と、暮らしを支える全ての自然要素を備えた稀有な都市です。これらの骨格となる多様なみどりは、水害の軽減、水源・地下水涵養、水質浄化、利水、微気象の緩和などの様々な役割を果たしています。多くの方々から選ばれる「杜の都」を目指し、安全安心で暮らせるまちの基盤となるみどりの保全・創出をより一層進めていきます。

奥山・里山

樹林を適正に管理することで、生物多様性の保全、CO₂吸収、水質浄化、水源の涵養等の機能を発揮します。



市街地（都心部以外）

計画的に配置したみどりは景観の向上、レクリエーション、コミュニティ形成等の機能を発揮しており、雨水の浸透・貯留機能を高めることにより、水害の軽減、地下水涵養、水質浄化等に貢献します。

河川

流水の適正な管理により河川の基本的な機能である治水、利水に加え、生物多様性の確保、微気象緩和、景観の保全等の環境機能を発揮し、また、河川敷の利活用によりレクリエーションやコミュニティ形成に貢献します。

市街地（都心部）

計画的に配置したみどりは暑熱緩和、景観の向上、レクリエーション等の機能を発揮しており、雨水の浸透・貯留機能を高めることにより、水害の軽減、地下水涵養、水質浄化等に貢献します。

田園・海岸林

夏季の冷たい海風は東部の平坦な地形を通過して内陸まで届き、市街地の温度の上昇を緩和しています。沿岸部で植栽した若木の育成により防潮・防風機能を確保し、防潮堤やかさ上げ道路等による津波被害を軽減する多重防御の機能を高めます。農地、湿地、屋敷林や樹林地の保全により生物多様性確保、地域固有の景観保全に貢献します。